



この人たちに しあわせと

し早くしていただけないでしうか、夕食(午後四時三十分)の時間が早いので、朝食との時間差が長いので、朝ごはんが待ち遠しい、一日のうちで一番空腹を感じます。

希望の光を 土佐清風園

これまで普通の小高い丘であった年越山に「土佐希望の家」と「土佐清風園」の二つの社会福祉施設が生まれ、恵まれない人たちに希望の光りと、しあわせをおくっています。九月の敬老の日を機会にその一つ特別養護老人ホーム「土佐清風園」(中田善水園長)をおとすれ「ここにきて身ざれいになった」「生活にはりができ、たのしい余生をすごすことができる」「人生の終着駅をここにむかえたい」と、園での余生をエンジョイするおとしよりと関係者の人々を交えて、ひとときを過してみました。

おとしよりに バラ色の人生を

司会 入園には年令制限とか、いろいろ定めがあると思いますが園長 年令は原則として六十歳以上ですが、特別な事情のある方は六十歳でなくても入園できます。現在、九十三歳から五十二歳までの八十八人(内、寝た切り老人四十六人)が入園しており、南園市の方は四十二人います。司会 入園の動機は、また、入園するまでの不安と入園後の気持ちとは……

▼ 私は自分からすすんできませんが、人にすすめて入園した人が大半を占めています。心配したほどのことでなく思ったよりよかったです。人によりますが、環境もよく、一室二室に住み人生のしまいをしたいと思っています。▼ 感謝のひとこと尽くまです。運営面の苦勞は知りませんが、

寮母や職員の方は、みんな親切にあつかってくださるので、安心していています。

仕事に、宗教に 生きがいを持ち

司会 たいくつで休まてあますといったようなことはありませんか。▼ 自分にできることがあれば、手伝いをしています。同室者に世話のやける人がいるうちに、いまでは手を引いてやると手洗いにゆくようになりました。

▼ 老人に生きがいを感じますことが大切で、とくにそのために宗教的なみちびきがほしいものです。

私は、キリスト教に帰依していますが、毎日、あるいは毎週、宗教の勉強を生活にはりをもたすことが、余生を信じ、有意義なものになります。

▼ できれば、それぞれのグループをつくり、宗教への心を培い、興味をもつような空気がくり出してほしいと思います。

園長 日本は、宗教が単一でないので、各宗教から講師を招き、講話を聞く機会をできる限りもつようにしてゆきます。

▼ ぜひ実現するように努力してください。そして生きがいを見出すことのできるようにしてください。

▼ 宗教と健康はつながりがあるといわれていますし、それは結構なことです。

▼ 私は仕事をすることが一番たのしいし、おもしろい。ひまさえあれば毛糸編みをしているので、たいくつするといったことはありません。

▼ たいくつしのに編みものをしてほしいと思つたこともありすが、肩のこる心配があるので実行するまでの決心はつきかねています。

▼ 体の具合のよいときには、おしめをたたんだり、軽い仕事の手伝いをしています。

食にもなれて

司会 食事はどうですか、お口に合いますか。

▼ 入園した当初は、ごはんの量が少なく、空腹を感じてこらえにくいことがありましたが、いまではそれにもなれて満足しています。

▼ 食事はおいしくいただいています。おかずの味付けもちょうど私の口には合っています。量や味もよいと思います。

▼ 量や味もよいと思います。

すことは、老人性痴呆症になる恐れがあります。元気な人のために娯楽の設備をととのえてほしいと思っています。

園長 あまり寝ついていると体に悪く、体や頭を使うことが大切なので、細工物、書道、絵画、音楽、詩歌などを日課とし、体と頭を使うことをすすめてゆくことを考えています。

▼ みんなが助け合つて暮らしていますが、としがいつてもやはり男と女で、仲のよいロマン?のキャップもできているようです。園長 これまでなれないため十六人の寮母さんみんなが体重を減らし、相当苦勞してきましたが、経験もできようやくもとの体に回復したようです。

いままでは施設面に力を入れてきたので、みなさんとの話し合いの場をもつこともできませんでしたが、これからはそうした場をもち、よりよい余生をおくつていただけるよう努力してゆきます。また、みなさんの声や作品を掲載する印刷物を二か月に一回程度発行することも考えています。

司会 それでは、みなさんの健康とこれからの長寿を祈りながら、終りとします。



土佐清風園

園長 食べること、飲むことがおとしよりの唯一のたのしみでもあり、口を動かしななければいけないようです。そのため、食事には十分気を配っていますし、週一回、希望をきき町へ買い物に出ています。日用品よりもお菓子類が多いようです。

ロマンの花も

▼ ここへきてから一か月後、面会にこられた人に「体の肌は艶がで、元気がなった」といわれ、うれしく思っています。

▼ 最初に髪を短くととのえてい

社会福祉法人「清風会(理事長山本尚一医博)の経営昨年六月起工、本年五月に完成し、翌六月に開園されました。土佐清風園は特別養護老人ホームで、寝た切り老人を収容する施設で、園からの措置費、国、県、市などの補助金、十二名の理事の寄付金などによりまかなわれています。